



志都美神社は香芝市の

武烈天皇陵の南に鎮座し、「延喜式神名帳」に記載された古社。祭神は天児屋根命はじめ3柱で、東側を太子道(斑鳩町)大阪府太子町の太子葬送の道)が通っています。

社伝によると、813(弘仁4)年、藤原氏の一族である片岡氏が草創



志都美神社

(香芝市)

- (住所) 香芝市今泉582
- (祭神) 天児屋根命、誉田別命、中筒之男命
- (交通) JR志都美駅から西へ徒歩

- 約10分
- 境内自由
- (駐車場) 有り
- (電話) 0745・77・5069

したとされます。かつては神仏習合思想に基づき

境内に清水山明王院という真言宗の寺が建てられました。明治の神仏分離で廃寺になりました。現在も明王院という石灯籠が残っています。境内には、かつて清水の湧く池があったといわれ、盲目の僧侶が目を洗

い、霊験を得て見えるようになったという伝承があり、「清水八幡宮」シズヒメ明神とも呼ばれていたと伝わります。今も境内の手水鉢などに「清水八幡」の刻印が見られます。現在の本殿は正面の柱間が三つある三間社流造で、江戸時代中期の建立と考えられます。

1880(明治13)年、コレラが大流行したとき、氏子の祈願で当地からは感染者が出なかったといい、感謝の気持ちを表した碑が本殿背後の石垣に奉納されています。神社の後方に広がる森にはシイを中心とした貴重な原始林が残っており「志都美神社の社叢」として県の天然記念物に指定されています。

(奈良まほろばソムリエの会員 柏尾信尚)

病気に霊験 清水の伝承